

環境価値取引 DX のデジタルグリッド
複数の発電・電力需要拠点を結ぶフィジカル PPA で、
自動化プログラムを初めて導入
～発電/需要予測、計画の提出、発電者/需要者間の料金精算までを自動化～

デジタルグリッド株式会社（本社：東京港区、代表取締役社長 CEO：豊田祐介）は、ケネディクス・グリーンエナジー株式会社（本社：東京千代田区：代表取締役社長：山口 豊）とのフィジカル PPA スキームにおいて、2025 年 4 月 1 日より複数発電拠点と複数需要拠点を結ぶ運用を開始いたしました。

本件は、複数の発電拠点と複数の電力需要家を結ぶ PPA 取引に、デジタルグリッド独自の自動化プログラムを初めて活用する取り組みで、複数拠点同士の運用の全自動化は日本初の取り組み（自社調べ）になります。

1. 本案件の特徴～複数拠点を結ぶ取引に独自の自動化プログラムを活用し、効率運用

今回の案件は、下記の 2 つの点でデジタルグリッドとして初の取り組みとなります。

① 複数拠点同士を結ぶ PPA

・PPA として、複数の発電拠点と、複数の電力需要家を結ぶ対応が可能なスキームを組成いたしました。

② デジタルグリッド独自の取引自動化プログラムを、複数拠点 PPA スキームで初めて活用

・電力を取引するためには取引管理、発電/需要予測、電力広域的運営推進機関（OCCTO）に対する発電/需要計画の提出、発電者/需要者との料金精算までを行う必要があります。デジタルグリッドは、「デジタルグリッドプラットフォーム（DGP）」を活用し、これらの一連の業務を自動化しています。

今回の取り組みでは、この自動化プログラムを、①の複数拠点同士を結ぶ PPA においてデジタルグリッドとして初めて実施しております。

複数拠点同士を結ぶ PPA は、管理が複雑なためコスト増の要因となります。デジタルグリッドでは、上記の自動化プログラムを活用し、コスト競争力のある需給管理サービスを提供しております。

2. 複数拠点を結ぶ自動化プログラムの提供価値

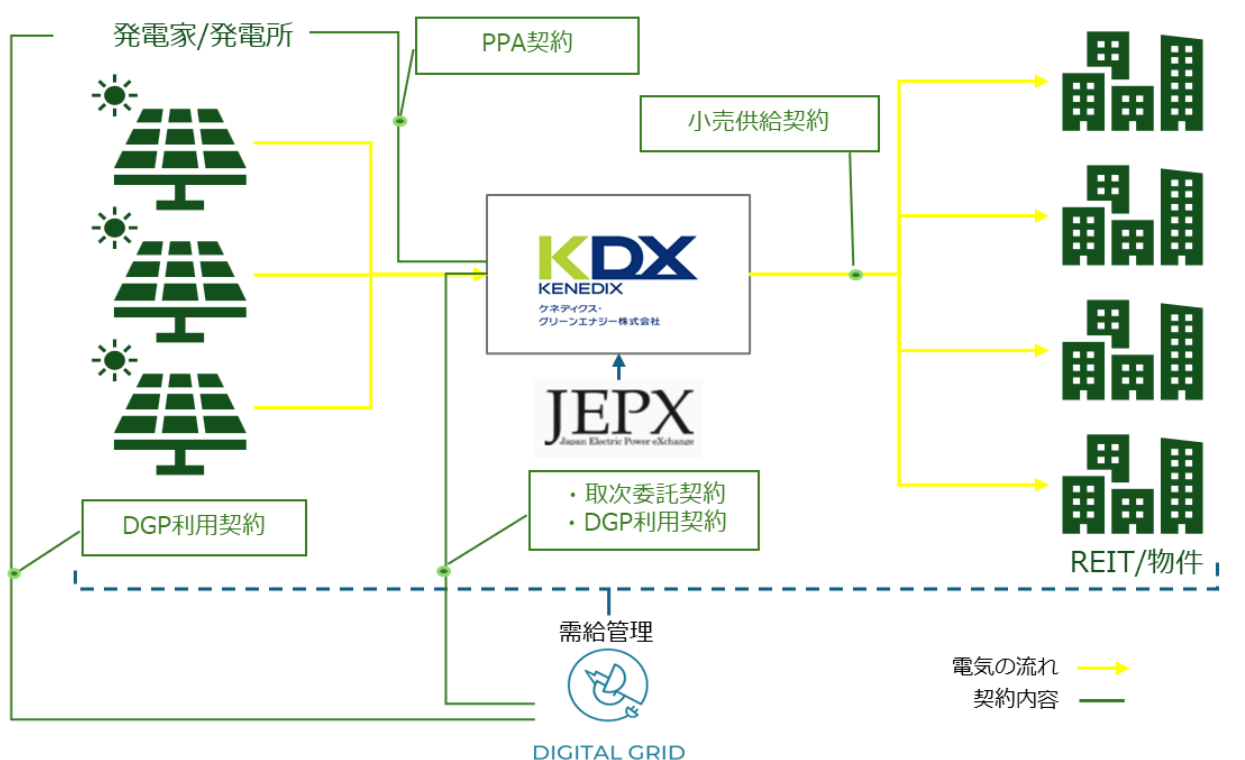
① 再生可能エネルギーの効率利用

- ・単一の需要拠点では消費しきれないほどの発電能力を有する再生可能エネルギー発電所から、複数の需要拠点到効率的に再生可能エネルギーを届けることができる。

② 複数プレイヤーの複雑な関係をコントロール

- ・複数の発電所と複数の需要拠点をグループとして取り扱い、その中で再生可能エネルギーを融通できる。発電所または需要拠点が複数のユーザーにまたがっていてもグルーピングが可能。

3. 今後の展望～柔軟な需要と供給グルーピング構築に向けての支援～



ケネディクス・グリーンエナジーは取次事業者として電力事業に参画し、ケネディクス株式会社（本社：千代田区、代表取締役社長 COO：寺本 光）のグループ REIT 物件に再生可能エネルギー由来の電力を販売しています。

本取り組みを通じて柔軟な需要と供給のグルーピングを構築し、運用効率の向上に繋げることを狙いとしています。

デジタルグリッドは今回の開発を通し PPA の需要と供給の全体最適を構築することで、企業の PPA 導入に貢献していきます。

【参考資料】

参考資料 1. デジタルグリッドの脱炭素経営支援サービスについて

デジタルグリッドは、下記のような幅広いメニューにより脱炭素・カーボンニュートラルに取り組み企業の経営支援に取り組んでいます。

(1) FIT 非化石証書代理購入サービス

- 電力需要家の代わりに、再エネ価値取引市場においてトラッキング付 FIT 非化石証書を調達するサービスです。

(2) オフサイト PPA 活用支援

- 自己託送や FIP 活用のフィジカル PPA のほか、電気契約はそのまま追加性のある環境価値を長期確保するバーチャル PPA もご提供しています。

(3) 再エネ自家消費環境価値組成支援 (J-クレジット、グリーン電力証書)

- J-クレジットの認証サポート、調達・販売、およびグリーン電力証書の販売を行っております。

参考資料2. デジタルグリッドプラットフォーム (DGP) の概要

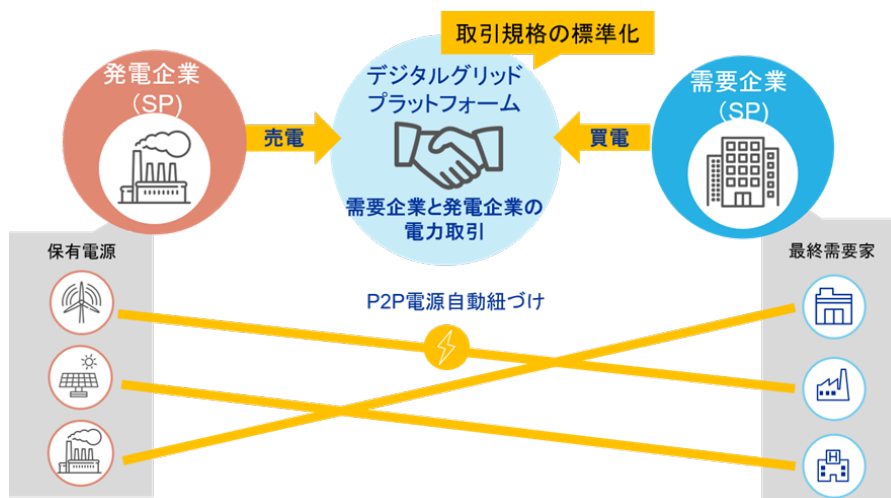
デジタルグリッドは、日本初の民間による自由な電力取引市場、「デジタルグリッドプラットフォーム (DGP)」を、2020 年 2 月から商用運営を行っています。

日本政府は再生可能エネルギー (再エネ) の主力電源化を掲げ、また企業も SDGs や RE100 プロジェクトへの取り組み推進など、再エネ電源の活用ニーズは高まっています。しかし一方で、再エネ電源は需給調整が困難など、電力システムの中で活用するためには多くの課題があります。

DGP は、そうした再エネ電源に加え多種多様な電源と電力需要をピアツーピア (P2P) で結び付ける、「電気の取引所」となります。DGP の主な特徴は次の 3 点です。

- ①電力取引の専門資格やシステム投資なしで取引できる ⇒電力取引プレーヤーを増やせる
- ②電源識別を行う (例えば、再エネだけを選んで購入できる) ⇒再エネ活用を円滑化する
- ③需給調整等の煩雑な業務を AI など自動化⇒発電家は電気の効率的売却、需要家は電力コスト削減等が見込める

【デジタルグリッド・プラットフォーム (DGP) のイメージ図】



【会社概要】 ～分散電源、再エネ・環境価値の取引プラットフォームの構築・運営

会社名：デジタルグリッド株式会社 <https://www.digitalgrid.com/>

代表者：代表取締役社長 CEO 豊田祐介

設立：2017年10月

資本金：2,643百万円（2025年1月末時点、資本準備金含む）

従業員数：70名（2025年1月末時点）

所在地：〒107-0052 東京都港区赤坂1-7-1 赤坂榎坂ビル3階

事業内容：電力及び環境価値取引プラットフォーム「DGP（デジタルグリッドプラットフォーム）」の運営、分散型電源のアグリゲーションサービス及び脱炭素関連学習コンテンツの提供

【本件取材問い合わせ先】 デジタルグリッド株式会社 広報室 石原 pr@digitalgrid.com
TEL 080-4388-3635／03-6256-0008 東京都港区赤坂1-7-1 赤坂榎坂ビル3階